

手をつなぐ親の会だより



《きこえ学級紹介》

西小学校のきこえ学級は、昭和48年に設立され、これまでに多くの卒業生を送り出してきました。

その多くの卒業生たちは、中学校や高等学校、大学の学生として、また様々な職場で期待される社会人として、活躍しています。

今年度、きこえ学級には、5年生1名、6年生1名、計2名の児童が在籍しています。みんな仲良く元気いっぱい学校生活を楽しんでいます。また、普段の生活はもとより、運動会やベストフェスタ in 西といった大きな行事でも、児童1人ひとりが、自分の個性や力を発揮し、大変よく頑張っていました。これも、皆様の温かいご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

きこえ学級の児童が、楽しく、充実した学校生活を送れますよう、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

手をつなぐ親の会会長 田中 洋一

保護者のみなさまには日頃より会の運営を支えていただき、心より感謝申し上げます。

未曾有の被害をもたらせた東日本大震災より一年が経ちました。情報の伝達が不十分な非常時に、障がいを抱える方々の不安は計り知れません。その中でも聞こえのハンデを抱える子どもたちに対して、共に被災者である私たちがどのようなサポートができるかを、この災害を経験することにより改めて考えることにもつながりました。

難聴児は健聴児と区別がつきにくいものです。そのため災害時には十分なサポートを受けられない場合も多く生じます。「聞こえない子がいること」を普段から意識しておくことが大切なのではないでしょうか。出来ることから積み重ねて地域・学校・PTA が日頃から連携し防災力を向上させなければなりません。

私たち、大人は教訓を生かし明るく・安心・安全なまちづくり、学校づくりのために様々なコミュニケーションの手段に取り組み、常に笑顔を絶やさずすべての子どもたちに接することを心がけていきたいものです。

子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう、引き続き保護者の方々から温かい手を差し伸べてくださるようお願い申し上げます。

『きこえ教室との交流』

学校長 手塚 英男

特別支援教育が2007年度から実施され、障がいのある子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じて適切な教育的支援を行うことが求められており、本校では、昭和48年に設立され38年の歴史をもつ「きこえ教室」を核とした特別支援教育の取り組みを、学校運営の大きな柱の一つとしています。

本年度の学校評価の項目にある「学校は難聴学級や異学年間の交流を工夫し思いやりのある児童の育成に努めている」では保護者・児童の84%以上が肯定的回答をしており「きこえ教室」との交流が本校児童のやさしさの源といっても過言ではありません。

年々、きこえ学級の児童の数は減少し、本年度は2名、次年度は1名となってしまいますが、今後、子どもたちのより良い環境と内容の充実のために様々な情報を収集しながら、学年の枠を超えた交流の輪をさらに広げていくと共に、子どもの将来を見すえて保護者との関わりを深めてまいりたいと思います。

一年間を振り返って

5年 小曾戸 拓翔



『桜の木の下で』



『冒険活動（そば作り）』



『日光遠足』



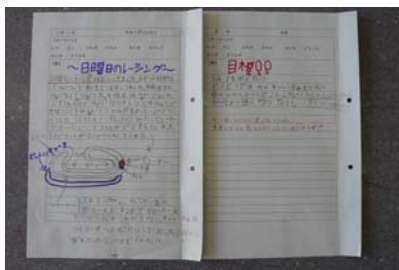
壁画『注文の多い料理店』



『作 品』



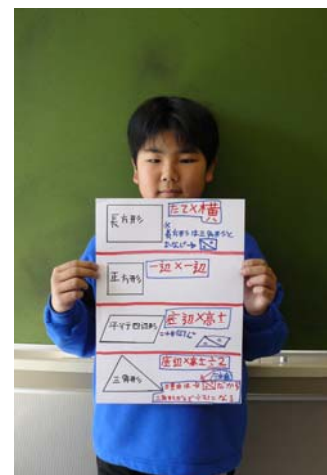
『大縄跳び』



『先生 あのね』



『自画像 カレンダー』



『算 数』

一年間を振り返って

6年 鈴木 健



『春』



『運動会』



『あいさつ運動』



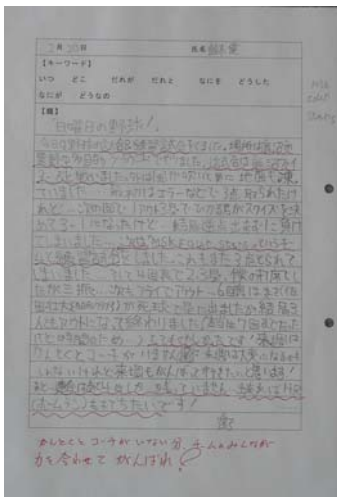
『ベストフェスタ in 西』



『修学旅行』



壁画『セロ弾きのゴーシュ』



『先生 あのね』



『スケート』



『6年生を送る会』

保護者から

『6年生に向けて』 小曾戸 由香

残り数ヶ月で息子は6年生になります。5年生の間にも、さらに様々な事を体験し学びました。なかでも、二泊三日で行った冒険活動では、集団行動の大切さや友達との絆を改めて実感したのではないかと思います。今後は、6年生として勉強面・生活面共に下級生のお手本となるよう自覚をしっかりと持ってほしいと思います。そして、残された小学校生活を悔いのないよう大切に過ごし、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

『卒業』 鈴木 明美

6年前の入学式の日、不安と希望でいっぱいだった瞳が今ではたくましく強い瞳に変わり、顔つきも身体も大人っぽくなりました。

この6年間、子供にとっては人生の中で心も体も一番大きく成長できた時期であり、親子共に大切なことをたくさん学んだ時期でした。改めて振り返ってみると、周りの人たちに支えられた6年間でした。

校長先生をはじめ、先生方、一つ一つていねいに根気よくご指導くださいましたことに、心から感謝いたします。

きこえ学級担任から

時田 専藏

きこえ学級には、現在、2名の子どもたちが在籍しています。きこえ学級では、国語と算数と道徳の勉強をしています。その他の教科は、交流学級で勉強しています。そのときに、子どもたちの必要な度合いに応じて、交流学級に行きます。やっと覚えた指文字や手話を、スムーズにと言えればいいのですがそうもいかず、ぎこちなく使って通訳をしています。ときには、小さなホワイトボードを使って筆談で伝えています。交流学級・学年では、友達が指文字で話しかけたり口を大きくゆっくりと開いて話しかけたり、きこえの子どもたちが笑顔で応じたりと、そのような光景が目に入ります。そればかりか、下学年の子どもたちも声をかけてくれます。うれしい限りです。西小の良さだと思います。

これからもこの温かいつながりが、より大きく、より深く育っていくことを心から願っています。

編集後記



心なしか陽光にも春の気配を感じるこの頃です。木々の若芽も、少々ふくらみ始めました。

この春、きこえ学級からは1名の児童が卒業します。西小でのたくさんの素敵な思い出と、これから始まる中学生としての新しい生活への期待を胸にして、これからも頑張ってもらいたいと思います。

皆様の暖かなご理解とご支援に、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。